

銅相場のトレンド、予測はベア

為替のトレンドの予測は割れる M C 声明 第74回 C O

【第74回 C O M C 声明】

【概況】

四月前半は、中国政府がトランプ米政権による貿易制裁に対する第二弾の報復措置として、米から輸入する大豆、自動車、航空機など一〇六品目に対し二五%の関税を上乗せすると発表するなどの米中貿易競争の激化。三月の米雇用統計で非農業雇用者数が一〇・三万人増と予想外の落ち込むなどのマイナスマ料もあつたが、国家経済会議(N E C)のクドロー委員長などが中国との交渉に前向きな姿勢を強調した事による米中貿易摩擦懸念の後退、中国の習近平国家主席が外資に国内市場を開放する方針を示した。貿易摩擦の緩和に向けて、米中の交渉が進みやすくなるとの期待を好感じ L M E 銅相場は U P、四月十五日時点で六、八三〇ドル(セツル)と月初価格より七四ドル高の前半締めとなつた。

後半は、B H P ヒリントン所有のエスコンティンダ銅鉱山での労使交渉がスタートしたこと、中国一〜三月の実質 G D P は前年同期比六・八%増で予想を上回つたなどのプラス材料もあつたが、中国の三月の鉱工業生産は前年同月比六%増で七カ月ぶりの低い伸びだつたこと、トランプ米大統領、米が利上げを継続するなか、ロシアと中国は自国通貨を切り下げていると非難したことなどを嫌気し L M E 銅相場は D O W N、五月十日現在で、後半スタート価格から二五・五ドル D O W N の六、七八六ドル。
銅建値七九万円円のスタート。

【所感】

今後の動向であるが、今回の C O M C においては、
A 北朝鮮情勢の動向
B L M E 銅在庫の動向(中国の地金輸入量 e t c)
以上の意見が非常によく聞かれた。

A に関しては、六月十二日に初となる米朝首脳会談が行われるが、その際、米が完全な非核化を要求するものと見られそれを受入れるための下地摺合せが現在水面下で行われている。北朝鮮が一旦はこの要求の呑む可能性が高いが、その後の要求通りに核廃棄計画が進む可能性は低いのではないか?
B に関しては、二〇一八年一月〜二月の廃銅輸入量は、二〇一七年同期と比較して四割減少し、三三万トンにとどまっていることから、その代替で L M E から銅地金を調達する可能性が高いのではないか?
これらを踏まえ、当委員会としては、プル、ベアの見通しを立てた。

六月十二日の米朝会談まで非核化に向けた計画が順調に進み、三〜四月の中国廃銅輸入量が順調に減少した場合、七、〇一〇ドル付近。両条件が揃わなかった場合、現状からもう一段安の六、六二五ドル付近まで下落するとの予想。

以上

議長 橋本健一郎(橋本アルミ)
委員 荒井 義明(荒井明商店)
勅使河原 孝行(テシ商店)
角井聡一郎(角井地銅商店)
棚町祐次(IRユニバース)

L M E 非鉄在庫 (5月14日発表分)

	入庫	出庫	5月11日		増減
			現在		
銅	10,925	2,025	289,975	+ 8,900	
G A W	0	0	0	± 0	
	G A C	10,925	2,025	289,975	+ 8,900
す ず	0	0	2,380	± 0	
鉛	0	800	131,225	- 800	
亜鉛	0	450	233,700	- 450	
アルミ	0	4,950	1,259,300	- 4,950	
二次合金	0	0	12,100	± 0	
ニッケル	0	156	311,448	- 156	
アルミ二次(NASAA)	0	220	170,920	- 220	

(単位：トン)